

衆議院議員 小泉りゅうじ

森林・防災セミナー 開催のご案内

いのちを守る森づくり

4千万本以上の木を植えた植物生態学者の熱き思い

講師: 宮脇 昭 先生 横浜国立大学名誉教授

日頃からの皆さまの温かいご支援に、深く感謝申し上げます。
大勢の皆さまのご来場を、お待ちしております。

平成26年 **10月25日(土)**

一部 セミナー ……… 14時00分より

二部 懇親会 (会費2,000円) 16時00分より

会場 秩父神社 参集殿2階「榭の間」



仙台南海岸「森の防潮堤」植樹祭

宮脇 昭 先生

1928年生まれ。横浜国立大学名誉教授。日本を代表する植物生態学者であり、これまで国内外で、宮脇方式による四千万本余りの植樹を指導、実施。「森林こそ人間が立ち返るべき場所」「森林こそ津波から生命を守る力をもつ」との哲学を、多くの方々の賛同を得て実践。

主催

秩父龍の会・秩父はなの会・小泉龍司後援会

お問い合わせ先

小泉龍司事務所 TEL 0494-25-0105



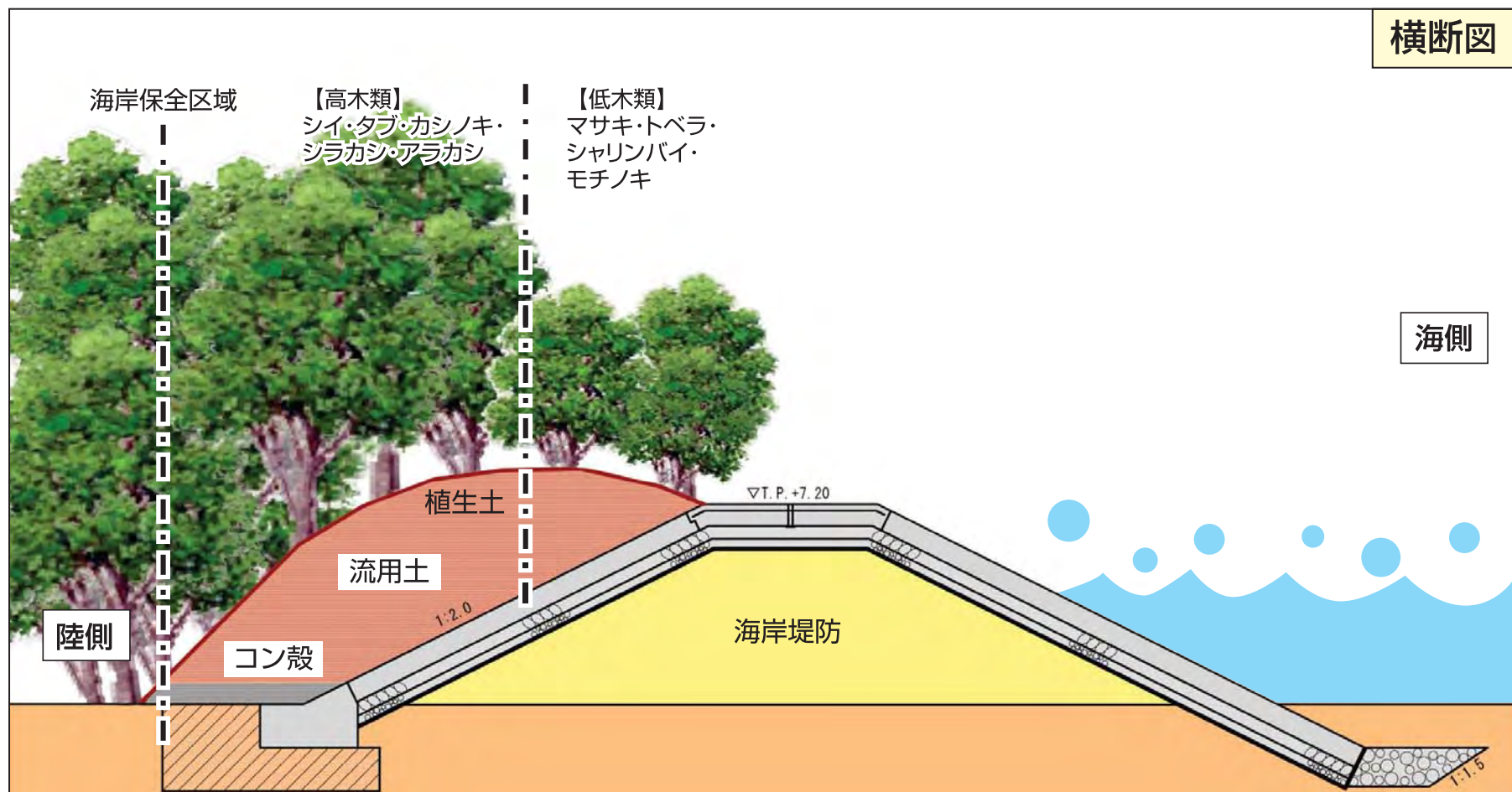
被災地において、宮脇 昭先生とともに推進する



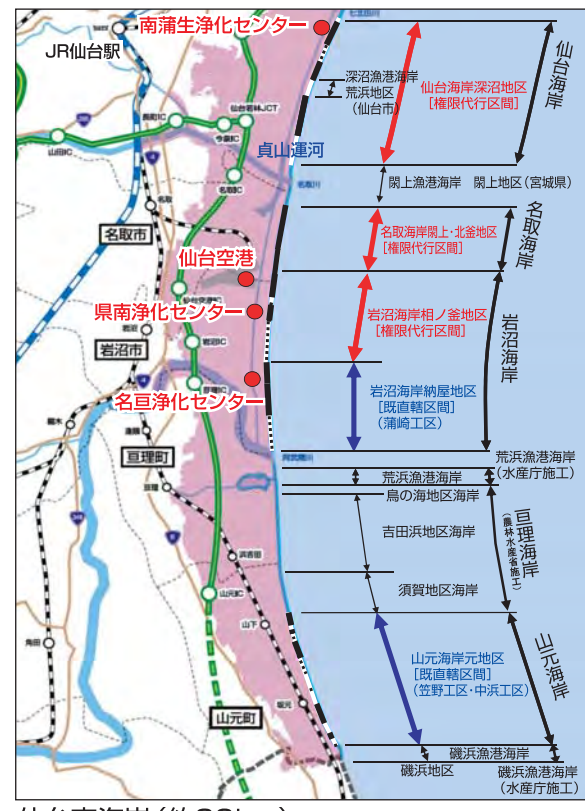
いのちを守る森の防潮堤

小泉龍司は、東日本大震災直後から、「植樹の神様」と呼ばれる宮脇昭先生とともに、「いのちを守る森の防潮堤」の実現を目指して頑張ってきました。森の機能を活かした防潮堤は、我が国初であり、世界にも類を見ないプロジェクトです。今年度予算において、晴れて、整備のための予算（復興特別会計）が計上されました。前例がないため、

財務省との折衝は難航しましたが、自民党総務会長・二階俊博先生のお力も頂きました。また、法律上も正式な事業とするための海岸法の改正も行われ、まず仙台南海岸沿い約30kmにわたり築かれることになります。「いのちを守る森の防潮堤」は、自然との調和を保ちながら、日本の国土と尊い人命を守る、**未来に向けた新たな防災のかたち**です。



高さ約4mの堤防（土堤をコンクリートで覆ったもの）を築き、その陸側背面に盛土を行った上で、植樹を行う。約20年後には、高さ約20mの森林が形成され、この森の壁により津波の力を大きく減殺する（引き波に対するセーフティーネットの機能も果たす）。



セミナーへのご参加をお待ちしております。秩父龍の会・秩父はなの会・小泉龍司後援会